

第8学年3組 保健体育科学習指導案

日 時 令和3年11月9日(火)
学 校 名 島根大学教育学部附属義務教育学校
指導者氏名 箕浦 良文

1 単元名 体育理論「スポーツと社会性」

2 単元(題材)の目標

- (1) 運動やスポーツを通して、他者と良好に関わるための社会性が身に付くことが理解できる。
(知識及び技能)
- (2) 運動やスポーツの違いや関わり方によって、どのような社会性が身に付くか考え、社会性を身に付けるために欠かせないことに気づくことができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 積極的な姿勢で話し合いに参加し、様々な意見を取り入れながら課題に取り組むことができる。
(学びに向かう力、人間性等)

3 題材の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	運動やスポーツを通して、他者と良好に関わるための社会性が身に付くことを理解し、学習したことを他者に伝えたりワークシートに書いたりしている。	運動やスポーツの違いや関わり方によって、身に付く社会性の違いがあることについて考え、ワークシートに記入している。	積極的な姿勢で話し合いに参加し、様々な意見を取り入れながら課題に取り組もうとしている。

4 基盤

(1) 教材観

運動やスポーツに取り組むことは世界中でなされており、人によって取り組む目的は様々である。学校現場における体育授業においても、子どもたちが様々な競技に触れられる機会が設けられ、授業を通して技能だけでなく、他者との関わり方や良好な関係づくりに貢献している。人が集まって集団となった時に、集団の一員として活動するためには、社会性を身に付けることが必要となる。社会性とは、「自主性」「協調性」「責任感」など、社会生活をしていくために必要な態度や行動であり、これらを身に付けることは社会を生き抜くために欠かせないことである。

本単元では、運動やスポーツに取り組むことが、ルールやマナーを守り、仲間と協力して取り組む力を身に付け、社会性の習得につながることを理解していく。その際、これまでに取り組んできた体育授業の場面を思い返し、競技ごとに身に付けてきた社会性について共に考えていく。このような活動を通して、体育授業の重要性について理解し、今後の授業を通してより良い社会性が習得できるように本時を展開していきたい。

(2) 生徒観

8年3組の生徒は男女合わせて30名である。クラスの雰囲気として、どの教科においても真面目に取り組むことができ、子どもたち自身で良好な雰囲気をつくりながら授業に取り組むことができる。男女の隔たりもなく、誰とでも協力して取り組めるクラスである。

部活動等の加入状況については、運動部・文化部・未加入の割合がほぼ均等であり、学校生活以外での運動の機会が少ない生徒もいる。そのため、普段の体育授業で取り組んでいる内容を取り上げながら考えることで、共通認識の下で思考できるようにしたい。

(3) 指導観

本単元では、運動やスポーツに取り組む中で、ルールやマナーを守る態度、他者との良好な関わり方、役割を責任もって取り組む姿勢など、社会生活を送るうえで大切な社会性が身に付くことについて考えていく。

まずは、社会性にはどのようなことが挙げられるか全体で考え、これまでに学習してきた体育授業での内容を思い返し、授業内容によって身に付く社会性について確認していく。社会性の内容について広げていくために、今年開催された東京オリンピックの柔道で金メダルを獲得した阿部選手の動画を視聴する。その際、礼儀を大切にすること、全力を尽くすこと、他者とともに喜びを分かち合うことなどを確認し、スポーツの中には他者を思いやる心があることに気づかせる。こうした態度は、社会生活を良好に保つために大切であることと、運動やスポーツが社会性の習得に貢献していることを確認し、その後の展開につなげていく。

体育の授業内容ごとに考える場面では、まず始めに全体で「走り高跳び」における社会性を考える。仲間と協力して用具を準備したり、仲間と励まし合いながら記録に挑戦したりなど、様々な社会性の要素が身に付いたことを確認し、その後、班ごとに「短距離走・リレー」「跳び箱運動」「サッカー」「ソフトボール」「バドミントン」「剣道」「ダンス」の授業内容を各班に振り分ける。個人で考えた後、班員全員で意見を出し合うように声掛けをし、ホワイトボードにまとめていく。班の中での考えがまとまった後、「オープン・カフェ」の学習形式をとり、各班員が散らばってそれぞれの班で出た考えを聞くことで、新しい視点や内容を見出していく。その後、自分の班に戻って他の班が考えたことを共有し合い、自分たちの班の授業内容に当てはめながら考え、気づけなかったことをホワイトボードに赤文字で書き足していく。各班で完成したホワイトボードは黒板に貼り、本時で考えたことを全体で共有できるようにする。それぞれの体育授業で身に付く社会性に気づくことで、体育授業が技能だけでなく、他者との関わり方を身に付ける場であることも全体で確認する。

振り返りの場面では、本時に学んだことをもとに、運動やスポーツの違いや関わり方により、身に付く社会性の違いについて記入していく。体育授業を通して様々な運動に取り組むことの意義について考え、今後実施する体育授業をより意欲的に取り組むきっかけとしたい。

5 指導と評価の計画（全3時間 本時2/3）

時間	学習活動・学習内容	○：評価規準と◇：評価方法		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	運動やスポーツが心身に及ぼす効果について学習	○スポーツが心身に及ぼす効果について、これまでの体育授業やスポーツ選手の名言から理解することができる。 ◇ペーパーテスト	○Crombook を活用してスポーツ選手の名言を調べ、名言の意味やそう考えた経緯を考えることができる。 ◇ワークシート	○スポーツ選手の名言に興味関心を持ち、スポーツが精神面に及ぼす効果について考えようとしている。 ◇ワークシート、振り返り
②	運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果について学習	○運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果について、これまでの体育授業から理解することができる。 ◇ペーパーテスト	○これまでに実施した体育授業から、社会性が身に付いた場面や、身に付いた力について個人やグループで考えることができる。 ◇ワークシート	○個人で考えたり、仲間との話し合いを通して、これまでの体育授業から社会性について考えようとしている。 ◇ワークシート、振り返り
3	安全な運動やスポーツの行い方について学習	○安全な運動やスポーツの行い方について、これまでの経験や体育授業などから理解することができる。 ◇ペーパーテスト	○これまでに実施した体育授業から、安全に配慮された場面や声掛けについて思い返し、安全な環境づくりや運動方法について考えることができる。 ◇ワークシート	○個人で考えたり、仲間との話し合いを通して、これまでの体育授業から安全への配慮について思い返し、運動やスポーツをするための安全整備について考えようとしている。 ◇ワークシート、振り返り

6 本時の学習

(1) 目標

- ・競技によってどのような社会性が身に付くか考え、社会性を身に付けるために欠かせないものに気づくことができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

学習活動と予想される子どもの反応	教師の支援(・)と評価
<p>1、これまでの体育授業を思い返し、社会性の意味について考える。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会性の意味について発表する。 ・今年開催された東京オリンピックの動画を視聴する。 ・視聴後、社会性に関わる選手の行動を挙げる。 ・本時の目標をワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会性が身に付いた人とはどのような人か聞き、動画視聴サイトの「【NHK】7/25 ハイライト 柔道 史上初! きょうだい同時金メダル」を視聴し、社会性の意味について確認する。 ・選手から社会性に関わる行動を見つけるようにしてから視聴する。 ・ワークシートを配布する。
<p>社会性を身に付けるために欠かせないものを考えよう</p>	
<p>2、体育の授業内容ごとに班で考える。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「走り高跳び」の授業から、身に付く社会性について全体で考える。 ・「短距離走・リレー」「跳び箱運動」「サッカー」「ソフトボール」「バドミントン」「剣道」「ダンス」のカードを用意し、班長が引いたカードの種目について、身に付く社会性を考える。 ・ワークシート①には個人での考えを記入し、班で共有してホワイトボードに書き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期に授業をした「走り高跳び」から身に付いた社会性について確認し、次の活動につなげる。 ・ホワイトボードを用意し、各班に配布する。
<p>3、他の班が考えたことに触れる。(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班に残る人1人と、他の班に移動する人を決める。 ・班に残る人は、ホワイトボードを使って他の班から来た人に説明する。 ・他の班に移動した人は、ワークシート②に自分の班にはないことを見つけ出し、メモをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動する生徒の移動先を決めるようにする。 ・移動した人は、説明を聞きながらメモを取るようになる。 ・説明を聞いた後、時間がある班は意見交換をしながらそれぞれの授業内容にも当てはめられないか考えるようにする。
<p>4、自分の班に戻り、社会性について考えをさらに深める(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれがワークシート②に記入したことを共有し、自分たちの班の授業内容に当てはめながら深めていく。 ・ホワイトボードに追加した内容を「赤文字」で記入していく。 ・各班のホワイトボードを黒板に貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の班から見つけた自分たちの班にはなかった考えを当てはめ、追加したことを「赤文字」で書くようにして、新たに見出したことを分かるようにする。 ・ホワイトボードを「個人」と「集団」で二分するように貼り、仲間との関りによって社会性が身に付くことを確認する。 ・本時の目標に立ち返り、ただスポーツをすれば社会性が身に付くのか生徒に尋ねる。 ・社会性を身に付けるために欠かせないものを確認し、振り返りにつなげる。
<p>5、本時の振り返る(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツをただするだけでなく、相手を思いやりながら取り組むことで、本当の社会性が身に付くのだと思いました。 ・個人競技と集団競技関係なく人との関りがあることがわかり、自分も周りの人を大切にし、周りの人から大切にされるようにしたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの観点「自分が思う社会性を身に付けるために欠かせないものとは、授業前後での自分の考え方の変化」を示す。
<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツが社会性の習得につながることを理解し、競技によってどのような社会性が身に付くか考えることができる。(思考力、判断力、表現力等) <p>評価方法(ワークシート、振り返りの内容)</p>	

(3) 評価

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	支援を要する状況への手立て
<ul style="list-style-type: none">・これまでの体育授業を思い返し、運動やスポーツを通して身に付く社会性について考え、社会性を身に付けるために欠かせないものに気づくことができる。・自分が考えた内容をワークシートに記入し、グループ活動で積極的に考えを伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none">・これまでの体育授業を思い返し、運動やスポーツを通して身に付く社会性について考え、ワークシートに記入することができる。	<ul style="list-style-type: none">・仲間との話し合いや、他者からの話を聞く中で、社会性について考えさせる。